

導入事例

バーンズ&マクドネル

バーンズ&マクドネルがデジタルトランスフォーメーションを活用して競争優位に立つ方法

“LicenseAnalyzer 2022 は、アプリケーションのコストと実際の必要性を評価するのに役立ちます。包括的な Open iT レポートのおかげで、経営陣は未使用のライセンスのみで、全体のソフトウェア費用の 25% も節約が可能になりました。”

Michael Allen

エンジニアリング・テクノロジー部長、バーンズ&マクドネル社

要点

- バーンズ&マクドネル社では、400以上の技術系設計アプリケーションの使用状況を把握する必要がありました。
- 3種類のソフトウェア資産管理ツールの中から、幅広いライセンスモデルの計測と、Open iT社の優れたデリバリーとコンサルティングサービスが評価され、Open iTの LicenseAnalyzer 2022が選択されました。
- 包括的なレポートにより、経営陣は未使用のライセンスを発見することで、ソフトウェア全体の支出を25%も節約することができました。
- Open iTの洞察を活用し、石油・ガス業界のプロジェクトでリースライセンス費用を35万ドル(4100万円)以上削減することに成功しました。
- バーンズ&マクドネル社は、包括的なデータと標準化されたレポートを活用することで、変化の激しい業界において、プロジェクトチームのライセンスコストを最小限に抑えています。

会社・事業概要

バーンズ&マクドネル社は、100%従業員所有の企業グループで、専門的な建設サービスをグローバルに提供しています。エンジニア、建設専門家、建築家、技術者、科学者からなる11,000人以上の従業員を擁するバーンズ&マクドネルは、世界中のさまざまな業種のプロジェクトの計画、設計、建設、管理を手がけています。

経営課題

買収が完了するにつれ、バーンズ&マクドネル社は多くの重複するライセンスを発見し、個別の契約を統合した企業契約が必要になってきました。 契約更新時のソフトウェアコスト交渉に有利になるよう、正確なソフトウェアの使用状況を把握する必要があったのです。

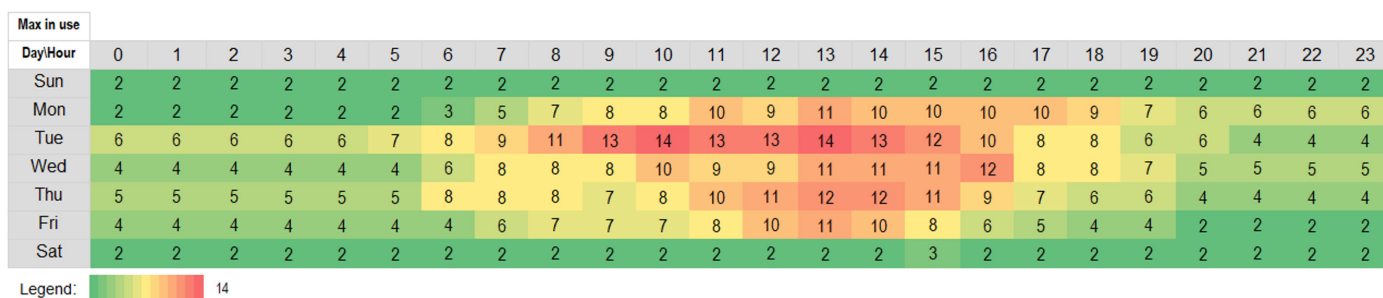
企業レベルでは、従業員がツールや権利を共有しました。しかし、バーンズ&マクドネル社では、各ビジネスラインのソフトウェアの使用状況を可視化したいと考えていました。その目的の一つは、ソフトウェアの利用コストを各ビジネスラインに提示することでした。そのためには、さまざまなライセンスモデルを持つアプリケーションを監視する必要がありました。これらのライセンスには、ネームドユーザーライセンス、サブスクリプション、SaaSソリューション、および世界中にあるオンプレミス、プライベート、クラウドホスティングのライセンスマネージャからの同時使用ライセンスが含まれます。

また、石油・ガス産業の低迷により、石油・ガスプロジェクトが中断されたため、ソフトウェアへの支出を見直す必要性に迫られました。特に、さまざまなライセンス契約の再交渉の際に、ライセンスと権利の適正化の必要性が認識されたのです。

このほかにも、ソフトウェアの使用状況レポートプロセスの効率化を図りました。ベンダー、技術、ライセンスの種類に関係なく、ソフトウェアの使用状況レポートを標準化することを目指したのでした。さらに、これらのレポートを1つのポータルで作成できるようにしていきたいと考えました。

解決策

バーンズ&マクドネル社は、この取り組みを実現するために、要件を満たす3つの技術系ソフトウェア管理ツールを検討し、最終的に Open iT® LicenseAnalyzer™ 2022 の採用を決定しました。理由は、広範なライセンスモデルでソフトウェアアプリケーションを計測する優れた機能を備えていることと、Open iT社が優れたデリバリーとコンサルティング サービスを提供してソリューションの効果を最大化することを可能にするためです。



LicenseAnalyzer 2022のヒートマップを使用して、各ライセンスの使用頻度を把握しました。また、各アプリケーションのユーザーリストを表示するユーザーレベルの利用状況レポートも作成しました。これらのレポートは、関係者へ使用状況や権利、発生したコストなどを知らせるために送られます。同社の管理者はOpen iTが収集した使用状況データを見て、財務報告書と照らし合わせました。これによって、社員一人一人が特定の製品に携わる時間に対応するコストを割り出すことができました。

The screenshot displays a dashboard with a sidebar on the left containing navigation options: Home, LM Portal, Dashboard, Analysis, Reporting, Administration, and Resources. The main content area shows three data tables:

Approaching Max: Max Utilization >= 90

Product	Feature Name	Max ...	In Use	Curr...
Reprise_Combined	25dsolids	2	2	100%
RepriseLM1_DSM1FP01_DSM1FP01	25dsolids	2	2	100%
Reprise_Combined	2flows	1	1	100%
RepriseLM1_DSM1FP01_DSM1FP01	2flows	1	1	100%
Reprise_Combined	5axis	2	2	100%
RepriseLM1_DSM1FP01_DSM1FP01	5axis	2	2	100%
LUM_BLR05V06-online	ADDC410	1	1	100%
LUM_engcad2-online	ADDC410	1	1	100%
Ansys_hou	ansys	2	2	100%
Lum_Combined	CAA - C++ Base Development Configuration [CDV]	1	1	100%

Long Checkout: Duration >= 48

Product	Feature Name	Checkout Time	User Name	Hos
Cadence_sfo	Concept_HDL...	2019-05-30 12:34:00 PM	jill.anders...	svg
Cadence_Co...	Concept_HDL...	2019-05-30 12:34:00 PM	jill.anders...	svg
Cadence_sfo	Allegro_View...	2019-05-30 12:32:00 PM	sesh.rao	hou
Cadence_Co...	Allegro_View...	2019-05-30 12:32:00 PM	sesh.rao	hou
Mentor_ent2	intexpflow	2019-05-30 12:30:00 PM	camila.treat	bos
Mentor_Com...	intexpflow	2019-05-30 12:30:00 PM	camila.treat	bos
Msc_mic2	PATRAN	2019-05-30 12:29:00 PM	tracey.bro...	svg
Msc_mic2	PA_BEAM	2019-05-30 12:29:00 PM	tracey.bro...	svg
Msc_mic2	NASTRAN	2019-05-30 12:29:00 PM	karen.hen...	dbc

License Expiration: Expiration <= 60

Product	Feature Name	License E...	Days ...
LUM-offline	AD5C410	06-04-20...	1
LUM-offline	ADDC410	06-04-20...	1
LUM-offline	CATIA - Hybrid Design 2 [HD2]	06-04-20...	1
LUM-offline	CATIA - Hybrid Design 2 [HD2]	06-04-20...	1
LUM-offline	CATIA - Hybrid Design 2 [HD2]	06-04-20...	1
LUM-offline	CATIA - Mechanical Design 2 [MD2]	06-04-20...	1
LUM-offline	CATIA - Mechanical Design 2 [MD2]	06-04-20...	1
LUM-offline	FRFS410	06-04-20...	1
LUM-offline	IGIS410	06-04-20...	1
LUM-offline	SHES410	06-04-20...	1

様々なベンダーが提供する150台のライセンスサーバーの使用状況データを統合し、リアルタイムで全従業員が見られるように一つのダッシュボードに表示したのです。LicenseAnalyzer 2022により、履歴ヒートマップや使用状況動向などのレポートが作成できるようになりました。バーンズ&マクドネル社では当初、ダッシュボードを使用して、Autodesk、Bentley、Hexagonなどの「Tier 1 ベンダーアプリケーション」と呼ばれるアプリケーションの従業員の使用状況を表示するのみでした。しかし、各種ライセンスの更新時期が近づくにつれ、ユーザーから声がかかるようになりました。また、アプリケーションをより深く理解するために、使用しているソフトウェアをダッシュボードに加えることを要望されました。ユーザーは、ライセンス更新時の支出や立場を、データを使って正当化したいと考えていました。

使用状況データを一つのダッシュボードに統合したことで、約150種類のソフトウェアの使用状況レポートを標準化し、業務に正規化することができました。これにより、バーンズ&マクドネル社は、ライセンス管理と使用量の最適化について、より良い対話ができるようになりました。また、これらの包括的なレポートによってソフトウェアの使用状況が可視化されたことで、より迅速なデジタルトランスフォーメーションの機会を創出することができました。これにより、新たなテクノロジーや費用対効果の高いライセンス体系をより機敏に採用することができるようになりました。その結果、より良い意思決定と新たなビジネスプランの策定が可能になりました。

“データは言葉より雄弁である。”

Michael Allen

エンジニアリング・テクノロジー部長、バーンズ&マクドネル社

結果

バーンズ&マクドネル社は、Open iTのソリューションにより、即時性のある継続的な結果を実現することができました。

コストの最適化

バーンズ&マクドネル社でソフトウェアの使用状況を監視した結果、使用率が低くて不要なライセンスが発見されたことが大きな成果でした。この発見により、同社は技術系ソフトウェアの総費用を25%も削減することができました。

例えば、あるアプリケーションのライセンスが2つあり、それぞれ年間4万ドルかかるとします。そのアプリケーションの二人のユーザーは、仕事にとって自分のライセンスが必要であると主張しました。どちらも「いつも使っているアプリケーションだ」と言い張りました。しかし、使用率レポートを見ると、それぞれ週に2~3時間しか使っていないことがわかりました。この使用率を基に、両ユーザーが協調して1ライセンスを共有することで、年間4万ドルのソフトウェア使用コストを節約することができました。さらに、前年の使用状況を見ると、ユーザーはアプリケーションをほとんど使っていないことがわかり、そのコストを正当化することはできませんでした。そこで同社は、実際に使用する必要性に照らしてコストを評価することで、このアプリケーションのみで8万ドルを節約することができました。

各ユーザーのアカウント、権限、1年間の利用料金の詳細をメールで送ったところ、一部のユーザーは、「使ったことのないアプリケーションのライセンスをどうやって取得したのかわからない」と回答しました。中には、以前のプロジェクトで使っていたライセンスが不要になったという人もいました。一方、一部のユーザーからは、「こんな権限は必要ない」という声も聞かれました。IT部門は、ユーザーの声に基づいてユーザーごとに適切な権利を判断することができたのです。2000ドルのライセンスから100ドルのライセンスに調整できたユーザーもあり、これは95%の削減となります。この情報を関係者に示し、各ユーザーの権利と責任を一致させ、同社は年間70万ドルのソフトウェア支出を削減することに成功したのです。

さらに、石油・ガス産業の低迷で多くの石油・ガスプロジェクトが停止したときがありました。その際にも、月35万ドルのリースライセンスを回収することができました。もしOpen iTから得た洞察がないとすれば、市場が回復するまでの9ヶ月間、その費用を支払い続けていたでしょう。

透明性

新たなプロセスを導入することで、IT部門と他部門の間の透明性が促進されたのです。ソフトウェアリソースのコスト、利用可能性、使用方法について、関係者と話し合うことができました。その結果、両者の関係はより良好になり、ITコストの最適化に向けた貴重なパートナーシップが始まりました。データに基づく対話により、経営者と従業員のコミュニケーションが容易になりました。それにより、成長を促し、生産性を向上させ、無駄な支出を削減するための戦略への参加が促がされました。

この透明性は、企業内の関係者の行動に良い影響を与えました。自分の行動が組織にどのような影響を与えるか、ユーザーの意識を高めることができました。その結果、リソースの有効活用につながったのです。データを利用できるようになったことで、エンドユーザーのソフトウェアに対する考え方が、感情的なものから事実に基づいたものへと変わりました。最終的には、組織内の情報の流れから、ライセンス数を適正化し、ユーザーの役割に応じた適切な権限を実現することができました。

デジタルトランスフォーメーション

バーンズ&マクドネル社は、Open iTを通じて、異なるベンダーやライセンスモデルに対して標

準化されたレポートを作成することができました。これにより、AutodeskやHexagonなどのベンダーが新たなテクノロジーやライセンスモデルを導入しても、機敏に対応することができました。Open iTが提供する洞察により、より迅速かつシームレスに新テクノロジーに移行することが可能になったのです。例えば、ライセンスの取得拒否や最大利用数に関する洞察を得たことで、Hexagonの新たなライセンスモデルへ効率的に移行することができました。

Open iTレポートを使用して、ビジネス・サイクルを見直すこともできました。データの使用パターンをライセンスの取得拒否のケースと比較しました。その結果、適切なスケジュール調整を行い、仕事の生産性を高めることにつながりました。

バーンズ&マクドネル社は、Open iTのヒートマップを見ながら、世界各地の時間帯とアプリケーションのアクティビティレベルを比較し、グローバル展開を推進することができたのです。従業員を追加雇用し、ライセンスの数を増やす代わりに、グローバルな勤務体系にシフトした方が、現在の投資を最大限に活用でき、コストも削減できることが報告されました。

また、使用状況レポートを活用して、ソフトウェアベンダーとの再交渉も行いました。これにより、購入した権利と現在のビジネスモデルを一致させることができました。また、単一のダッシュボードを活用することで、管理者がライセンス情報を把握することも容易になりました。この可視化により、コンプライアンス上のリスクが大幅に軽減され、ライセンス契約の再交渉に備えることができるようになりました。

実用的な情報を得ることで、より効率的な意思決定が可能になり、刻々と変化するIT環境の中でより俊敏に対応できるようになりました。これにより、バーンズ&マクドネル社は最終的に大幅なコスト削減を実現し、課題を競争優位に変えることができました。

Open iTについて

Open iTは、柔軟なソフトウェア使用状況の計測・管理ツールを提供し、顧客へ最良のITソリューションを提供しようとする企業のサービス価値とビジネス実現性を大幅に向上させます。ハードウェアとソフトウェアの先進の使用状況レポートと最適化ソリューションを提供します。お客様は、Open iTのツールやサービスを利用して、ITコストの削減、パフォーマンスの向上、ビジネスプロセスの改善をサポートしています。

Open iT ソフトウェアは、完全にカスタマイズ可能な使用状況レポート、ハードウェアとソフトウェアの使用状況に対するきめ細かいチャージバック、Windows、Unix、Linux プラットフォームにおける自動化された業界最先端のライセンス解放機能などを提供します。Open iTの計測および最適化ツールは、ソフトウェアおよびIT資産の管理者に、ライセンスマネージャを使用していないアプリケーションやウェブアプリケーションに加えて、異なるライセンスマネージャ間での高度な使用状況の計測結果を提供します。

詳細情報

お客様の組織のニーズに最適なソフトウェアソリューションの一部または全部については、sales-jpn@openit.com まで電子メールでお問い合わせください。詳細については、弊社のWebサイト (<https://openit.com/ja/>) をご覧ください。

お客様からのフィードバックを歓迎し、support-jpn@openit.com を通じて技術的な質問にお答えします。



JAPAN

〒107-0052 東京都港区赤坂
二丁目23-1
アーキヒルズ・フロントタワー
InControl内

AMERICAS

Two Park Ten Place
16300 Katy Freeway
Houston, TX 77094
Tel: +1 281 599 3400

EUROPE | AFRICA

Karoline Kristiansens v. 5
N-0661 Oslo,
Norway
Tel: +47 22 20 40 50

ASIA | MIDDLE EAST

Doña Aurora Blvd.,
Gulang-Gulang, Lucena City
4301 Philippines
Tel: +63 42 710 856